

抽選後においても、入居希望がなく、空き室が生じた場合は、落選された方に、当日、再抽選するなど、あつせんを
している。今後も、引き続き
入居機会の確保に努める。

(建築課)

○その他の質問項目

「学校の施設補修費の増額について」ほか

循環型社会の実現に向けて

桜井 くるみ 議員

問

環境大臣賞を受賞した山梨県の「NPO法人スペースふう」は、リユース食器の貸し出し事業を起し、市や県の支援のもと、イベントでゴミを出さない取り組みを行っている。熊谷市もイベントでリユース食器の導入や自主的にやろうとする団体への支援をしようか。

答

本市は、ごみの発生抑制と資源循環の推進を図るため「熊谷市一般廃棄物処理基本計画」を策定した。本計画では、「3Rを基本とする循環型社会の構築」を基本理念とし、市民、事業者、市が一体となってごみの減量と資源の有効活用に取り組むこととしており、この計画に

示した政策を積極的に推進することにより、本市における循環型社会の形成を図ってまいりたいと考えている。リユース食器については、先進事例のように、自主的に取り組む団体があるか確認するとともに、本市が行うイベント等で実施が可能かどうか検討していきたい。

(廃棄物対策課)

○その他の質問項目

「障害者の雇用と支援について」ほか

熊谷市の教育について

田島 道夫 議員

問

①二学期制になり、市内の子どもの学力は、どのくらい上がったのか。②市内の小中学校で行われている先進的な取り組みは何があるか、それぞれ伺いたい。

答

①本市では、平成十四年度から二学期制を実施し、授業時間の増加や、各学校間における指導と評価の一本化を図った学習指導の取り組みによって、今年度の全国学力・学習状況調査について、小学校六年生と中学校三年生の国語、算数、数学において、全国平均を上回っている。②二学期制に伴う本市独自の通



小学校の授業の様子

緊急経済雇用対策について

大嶋 和浩 議員

問

①これまでの本市の雇用対策②離職者数③国・県の雇用対策の動向④介護職・農業職への就職支援⑤本市の雇用対策は、今後どのように取り組んでいくのか、それぞれ伺いたい。

答

①当面の生活を確保するための支援を目的として「熊谷市緊急雇用対策」を昨年末から実施している。②平成二十一年一月の離職者数は二千三十六人で、前年同月比五二・六%の増加である。③国では、新たに就業希望者を雇用する農業法人等に対し、研修経費を助成する就業支援策を推進しており、県は二、三月に県内数箇所就業相談を実施している。④本市としては、介護職の人材確保は重要な課題と認識しており、老人福祉施設協議会大里支部を通じて、介護職の就職について働きかけていきたい。農業職の求人については、具体的な把握に努め、先進事例等も参考に研究していきたい。⑤県の「ふるさと雇用再生基金事業」等を積極的に活用し、

新たな雇用の創出を図ってきたい。

(商業観光課)

○その他の質問項目

「食と農を活かしたまちづくりについて」ほか

熊谷の教育について

山田 忠之 議員

問

①理不尽と思われる要求等をする保護者に関して報告を受けた具体例②教職員にはどのような対策を講じているか③内閣府の調査で、学力向上に寄与しているのは「塾」と答えた保護者が七〇%いたことについて④学力向上のため本市独自の運営方針を立てる考えはあるか⑤給食時のマナー指導について、それぞれ伺いたい。

答

①通知票の評定が悪いのは教員の指導が悪いからだという主張を繰り返す、学校の説明を聞くこととしない例などがあつた。②保護者の訴えに誠実に耳を傾けることや、担任だけでなく、学校全体で対応するように指導している。また、学校だけで解決が困難な場合には関係機関や顧問弁護士と相談するよう指導している。③学校で